



日本共産党 北区議会議員

No.19 2021.2月号

せいの恵子区政レポート

日本共産党北区議員団

〒114-8508

王子本町 1-15-22

<http://keiko-seino.com> mail@keiko-seino.com

ご相談は
お気軽に

070-3531-0812

2021.1.31(日) 17:00-19:00 @Zoom / 無料

お申込はコチラ ▶ または aiko.usul.it@gmail.com

性的同意って何？ 刑事司法を考える ジェンダー学習会

なぜ日本では「性的同意」を中核とした刑法改正が行われないのか？
男性化された刑事司法についてジェンダー視点で考えていきます。

立憲民主党 北区議会議員 うすい愛子
日本共産党 北区議会議員 せいの恵子
NPO 法人 ジェンダーイコール 篠原くるみ

講師 後藤弘子
千葉大学大学院社会科学研究院教授。専門は刑事法。法科大学院では、ジェンダーと法、少年法を教える。日本被害者学会理事、ジェンダー法学会副理事長。



1月31日、立憲民主党・うすい愛子北区議、NPO 法人ジェンダーイコール篠原くるみさんと私せいの恵子の共催で行った学習会。

今回は講師に刑事法がご専門で、女性や子どもの犯罪被害・加害と刑事法の在り方について研究されている、千葉大学大学院社会科学研究院教授 後藤弘子先生をお招きし、性的同意とは何か、また刑事司法についてジェンダーの視点でお話いただきました。

刑法の性犯罪に関する規定は 110 年間改正されることなく、2017 年に大幅に改正が行われました。強姦罪は「強制性交等罪」と罪名が変わりました。また、18 歳未満の子に対する性犯罪は、監護者性交等罪として新しい規定が設けられました。

しかし、被害者が「同意していない」ことは判断基準とされず、加害者が暴行・脅迫を行ったかどうかによって犯罪成立が左右されるというように、被害者の訴えが取り上げられない状況は刑法ができた当時から変わっていません。

後藤先生は、性暴力について考えるときの基本は 1. 同意がなければ性暴力である、2. 性犯罪は権力犯罪である、3. 性暴力や女性に対する暴力は、ジェンダー差別である。根底にある女性差別的な考え方が暴力によってより強化されていくと言います。そして現在の刑法は「同意」を基本としたものになっておらず、女性被害者に対する理解が欠如している。刑事司法の目的は「侵害された秩序の回復」ですが、その「秩序」とは男性が「こうあるべきだ」と考えた規範であって、刑事司法自体が「男性化」されているとも述べていました。

内閣府でも今年度は「女性に対する暴力をなくす運動」「性暴力を、なくそう」をテーマに取り上げています。「勝手に YES と思いつむのは NO！」「相手の同意のない性的な行為は、性暴力」という当たり前に思えることも、まだまだ共通認識とされない日本。最大の被害者支援は加害者を適切に処罰すること。2017 年にやっと改正されたとはいえ、現代社会にふさわしい刑法へと、さらに法改正が必要です。私も学びを深めながら声を上げていきたいと思えます。

まずは、話してみませんか？

性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センター (全国共通番号) **#8891**

性暴力の悩み、ひとりで抱え込まないで、ためらわずに、お電話ください。

相手の望まない性的な行為は、性暴力です。性暴力は、性別や年齢にかかわらず起こります。身近な人や交際相手、配偶者から被害を受けることもあります。つらいことや不安なことは、ひとりで抱え込まず、まずは私たちに相談してください。

性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センター **#8891**

● 発信場所から最寄り駅の電話番号に、あなたがかけた電話を自動転送します。
● 一部の携帯電話、PHS等からはつながりません。

By calling this number, you will be automatically connected to your closest one-stop support centers for victims of sexual crime and violence.

内閣府 性犯罪・性暴力とは 警察の性犯罪被害相談電話 **#8103** でも相談を受け付けています

勝手に YES と思いつむのは NO!
あなたの同意のない性的な行為は、性暴力です。

11月12日～25日は「女性に対する暴力をなくす運動」期間

北区長へ第6次新型コロナウイルス感染症対策に関する申し入れ



写真左から、そねはじめ都議、花川北区長、山崎たい子、せいの恵子、さがらとしこ区議

2021年1月15日、コロナ感染急拡大、医療崩壊とも指摘される中、そねはじめ都議、北区議員団(さがらとしこ、山崎たい子、せいの恵子が代表参加)で、北区長へ新型コロナウイルス感染症対策に関する、第6次申し入れを行いました。

医療体制をはじめ、機能が限界にきている保健所への体制強化、無症状者を早期に把握し、軽症のうちに抑え、感染拡大を防ぐPCR検査の社会的検査の拡充、営業短縮など影響を受けている全ての事業者や、困窮している区民への支援など要請しました。

区長は「東京都とも連携して医療を支え、保健所への支援も強める。緊迫した状況に対し様々、検討をすすめる」と対応しました。

コラボ (colabo) のバスカフェ・アウトリーチ活動に参加しました。

一般社団法人コラボは、困難を抱える少女たちへの相談活動、食事提供、シェルターでの宿泊支援、シェアハウスの運営を行っています。そこには10代の女性たち自身が参加し、すべての少女が「衣食住」とかかわり、困難を抱える少女が搾取や暴力に行き着かなくてよい社会を目指して活動しています。

私も1月20日に行われたバスカフェやアウトリーチ活動に参加しました。当日は設営や撤去作業のお手伝い、スタッフに同行して、夜の新宿歌舞伎町界隈を歩き、10代の少女に声を掛け安全なバスカフェに案内する様子を見学しました。緊急事態宣言下でも夜の街には、少女に声を掛ける男性やスカウトがいたるところにいます。

少女たちに対する、性搾取の働きかけが公然と行われている様子に、コロナ禍の下で、少女や女性たちの安全な居場所づくりや公的な支援の必要性を強く感じました。コラボの実践に学び、民間団体と協力しながら北区でも取り組みを行っていきたいと思います。



写真中央はコラボ代表の仁藤夢乃さん



バスカフェには、密を避けて一人ひとりがくつろげるスペースも

緊急事態宣言が3/7まで延長されました。北区でも学校や介護施設などでの新規陽性者の報告も多くなっています。

コロナ禍の下、お困りごとなどありましたら、いつでもご相談ください。



駅頭宣伝
カレンダー

雨天中止

朝7:30
~8:15

2/5(金)
西薬鴨駅
(セガイルガン側)

2/12(金)
王子駅
(親水公園口)

2/19(金)
板橋駅
(東口)

2/26(金)
西薬鴨駅
(セガイルガン側)